

## 関西支部総会ならびに講演会の開催報告

関西支部長 宗平順己 (むねひら としみ)  
(株)オーグス総研

去る4月13日(土)経営情報学会関西支部総会ならびに講演会を開催しました。場所は京都大学百周年時計台記念館で、13時15分～13時45分に会議室Iにて支部総会を開催し、前年度活動報告、今年度活動計画を承認した後、国際交流ホールに移って、14時から講演会を開催しました。

講演会は、派生グループである「IT投資マネジメント研究会関西」と共催で、一般財団法人関西情報センターの関西CIOネットワークングサロン、NPO法人ITコーディネータ京都の後援を得て『IT投資マネジメントの変革』をテーマとして開催しました。

この講演会は、IT投資マネジメント研究会メンバーが中心となって執筆された『IT投資マネジメントの変革』の内容について紹介いただくもので、主催の松島先生、全体統括の栗山氏以外は、関西支部会員の執筆者が講演者となりました。

参加者は合計60名で、経営情報学会に所属しない参加者としては、IT投資マネジメント研究会関西から4名、関西CIOネットワークングサロンから5名、ITコーディネータ京都から7名、その他7名で、産学連携の幅広い集まりとなりました。なお、関西支部会員には、これらの団体に属しているものも多く、日常的な業際的な活動を反映した参加者となりました。

講演会の詳細は以下のとおりです。

14:00～14:35

松島桂樹(武蔵大学経済学部教授)

本書出版の全体構想

14:35～15:00

栗山 敏(武蔵大学総合研究所奨励研究員)

4章「情報システム構築における経営者の役割」  
担当

15:00～15:40

横田明紀(立命館大学経営学部准教授)

5章「価値再発見のためのオペレーション・マネジメント」担当

15:40～16:10

加藤 敦(同志社女子大学現代社会学部教授)

6章「BCPにどこまで投資すべきか～IT-BCP投資マネジメント」担当

16:10～16:40

藤原正樹(宮城大学事業構想学部教授)

8章「中小企業にとってのIT投資マネジメント」

16:40～17:30

パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、所属団体に偏ることなく多くの質問がなされ、この分野に対する関心の広がりを感じさせるものとなりました。

講演会終了後は場所を百万遍近くの写楽に移動し、部屋を借り切った懇親会となりました。ここでも幅広い交流が活発に行われ、有意義な時間を過ごすことができました。

